



ようれんきん 溶連菌って？

溶連菌（溶血性レンサ球菌）という菌が原因の感染症です。

5歳以上でかかることが多いです。

症状 発熱、頭痛、のどの痛み、のどの腫れ、首の腫れ、皮膚の赤みなどの症状がみられます。吐き気、嘔吐、腹痛を伴うこともあります。また、感染してから1-3週間後に腎臓に障害を起こすことがあります、その場合、血尿などがみられることがあります。

溶連菌になったらどうするの？（治療法）

溶連菌と診断されたら溶連菌を除菌する抗生剤を10日間飲みます。

水分、食事をこまめにとってください。のどが痛いときはのどごしのいい食事（ゼリーなど）はとれることがあります。その他、のどの痛みどめ、熱さましなどのお薬も使います。

いつ治る？

抗生剤を飲み始めて2日以内に熱が下がります。その他の症状も1週間以内で治ります。

次に受診するタイミングは？

下記のいずれかの場合は必ず受診してください。

- ✓抗生剤を飲み始めて2-3日経過しても熱が下がらない
- ✓ぐったりして様子がおかしい
- ✓水分、食事が全くとれない
- ✓赤いおしっこ（血尿）がでた
- ✓症状が上記の期間をすぎてもよくなるらない

3週間後におしっこ
持ってきてね



★血尿が無くても、溶連菌に感染したら全員、最初の受診から約3週間後に尿検査をします。

必ず3-4週間後に尿を持ってきてください（ご家族だけでも可）

保育園、幼稚園、学校はいつから行ける？

- ✓抗生剤飲み始めて24時間経過
- ✓24時間以上発熱がない
- ✓水分、食事が普段通りとれる

上記の状態であれば登園、登校できます。

抗生剤を飲み始めて24時間以内は周りに感染するので注意しましょう。

2024年5月作成